

第7回ものづくりAPS推進機構 PSLXフォーラム技術委員会 議事録

日時：2007年7月18日（水）13：00～18：00 場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス 安信ビル5階503会議室

出席者（敬称略・順不同）

西岡靖之（法政大学）、児玉公信（エクサ）、松川信也（日立製作所）、河内伸仁（岩井機械工業）、山本明人（光電製作所）、柴尾鉦一（エー・アイ・イー研究社）、前田麻美（法政大学）、杉修（書記・法政大学）8名

資料

[1]PSLX標準仕様バージョン2第3部：業務オブジェクトモデル パブリックレビュー版-Version8-(2007/07/18)

[2]PSLX標準仕様バージョン2第4部：オントロジと情報モデル パブリックレビュー版-Version8-(2007/07/18)

[3]PSLX標準仕様バージョン2第5部：XMLスキーマ パブリックレビュー版-Version8-(2007/07/18)

[4] PSLX標準仕様バージョン2第6部：RDBスキーマ パブリックレビュー版-Version8-(2007/07/18)

（1）本日の議事内容の確認

※7月25日(水)のフォーラムに向けてPSLX標準仕様バージョン2の最終的な確認を行うとの報告があった

（2）情報モデル（オブジェクトモデル）

※前回の改定履歴の確認があった

※生産品目関連において仕掛品の品目番号などを識別するののかとの意見があった

※生産プロセス関連においてE-BOMとM-BOMは別物であるため、一緒のモデルに入っているのはおかしいとの意見があり、一緒にするであれば機能情報も加えるべきとの議論があった

※生産プロセスにおいては工場生産されるものだけをBOMで管理すべきであり、製品ができるまでに必要なBOMの構造を持たなくてもよいとの意見があった

□BOMの階層図を用いた生産プロセスに関する議論の際に書かれた図を以下に示す。

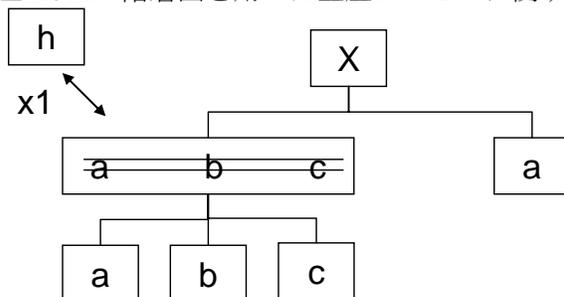


図1 BOMの階層

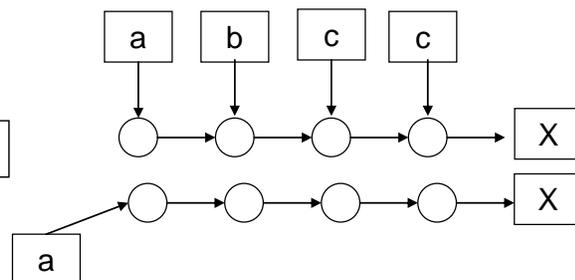


図2 生産プロセス

※オーダの階層構造において、作業指示は作業場オーダの横に書くのではなく下に書いた方が意味的に繋がるのではないかとの議論があり、位置を変更した

※オーダー関連要素において、発注オーダー（Purchase Order）と英訳するのであれば、受注オーダー（Customer Order）を（Acceptance Order）に変更してはどうかとの議論があった

※保守作業において、品質作業は含まれているののかとの意見があった

※作業の詳細（在庫）において、在庫移動を在庫移動予定に変更したとの報告があった

(4) 情報モデル(RDB)

※受注管理において、売上実績に入金などが含まれていないという意見があった。（経理処理はA P Sの対象外だが、そこに渡す情報を提供する立場で売上実績というオブジェクトは残す）

※発注管理において、購買実績を出荷実績に変更してはどうかとの意見があった。

※引当管理において、ロットの引当先はひとつではなくふたつでもいいとの説明があった。実績ロットは含まれていないが、在庫オーダがロットを引当てるとの説明があった

※ペギングでは情報が減るのでフルペギングでないと、オーダ情報を持つことがないとの意見があった

※ペギングでは座席予約のように詳細の情報を入れることができないとの議論があった。

(5)その他

次回予定

2007年8月20日（月） 13：00～第6回 アドホック会議（OASIS PPS合同）

2007年9月12日（水） 13:00～ PLSX技術部会